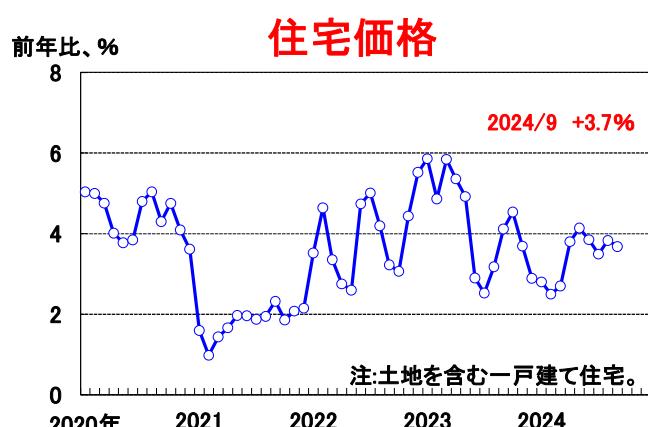
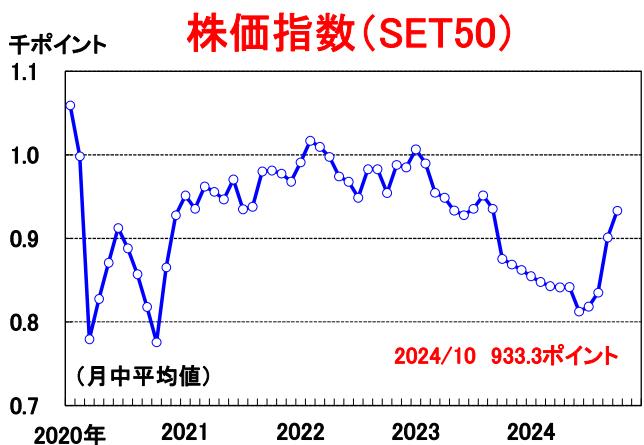
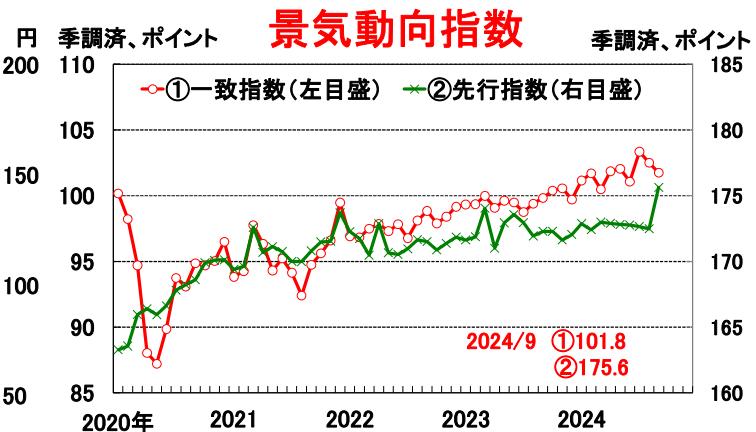
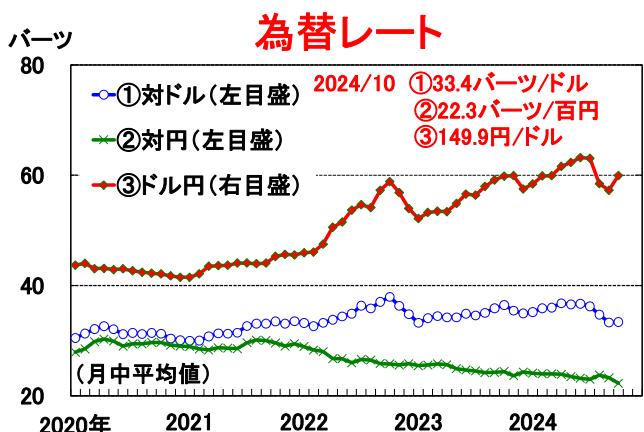
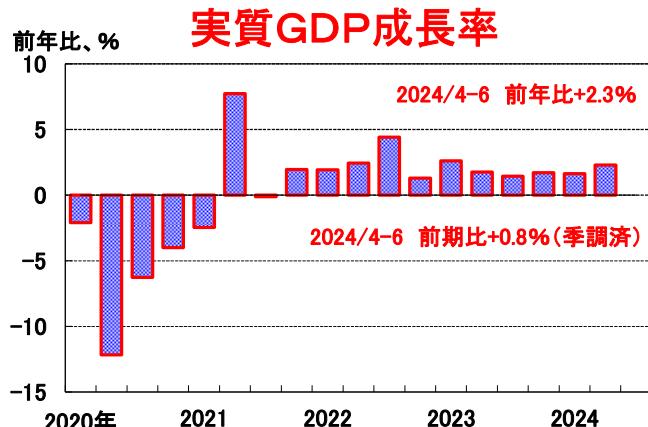
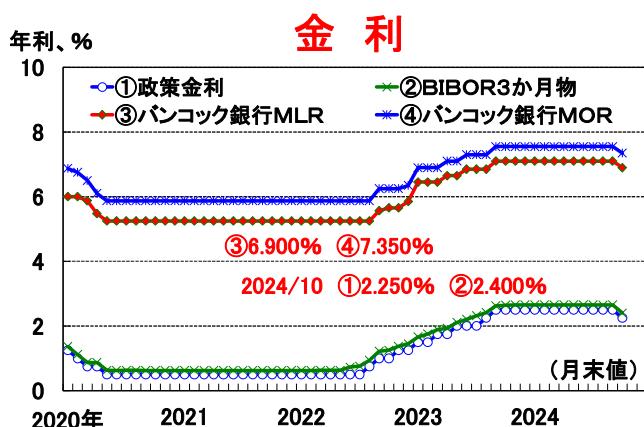
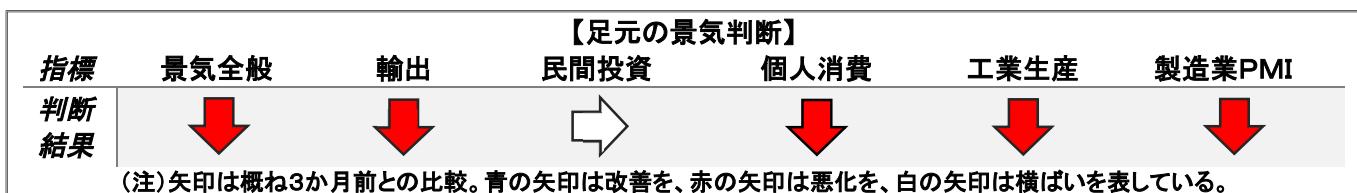


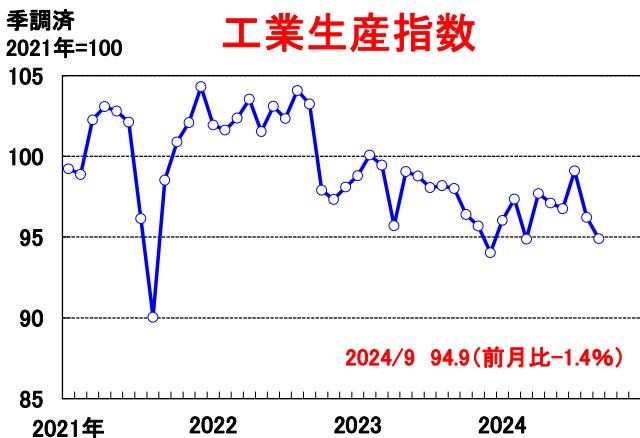
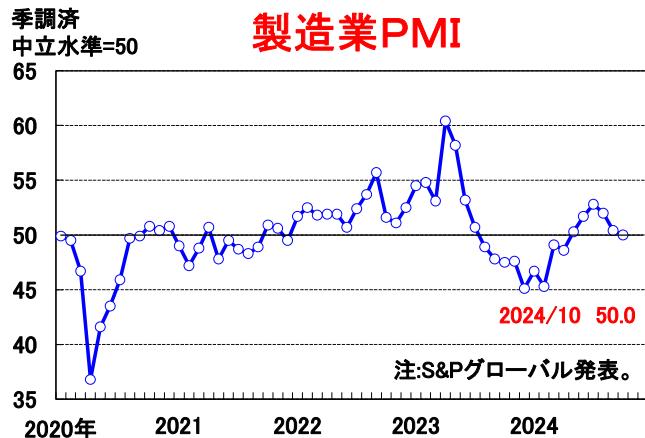
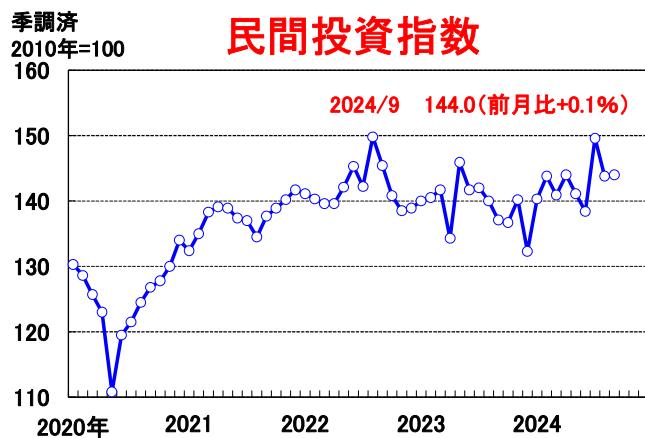
グラフで見るタイ経済 2024年11月号(No. 185)

タイの景気は回復の動きが鈍くなっている。まず、企業部門では、9月の輸出が前年比+1.1%と2か月連続で減速した。内訳をみると、米国向けが増加したものの、中国向けや日本向けは減少した。また同月の工業生産指数は前月比-1.4%と2か月連続で低下した。続く10月の製造業PMI(中立水準は50)は50.0と3か月連続で低下した。内訳をみると、新規受注などが減少している。次に、家計部門をみても、9月の個人消費指数が前月比-0.7%と低下した。新車購入の大幅減などから耐久財消費指数が下落した。

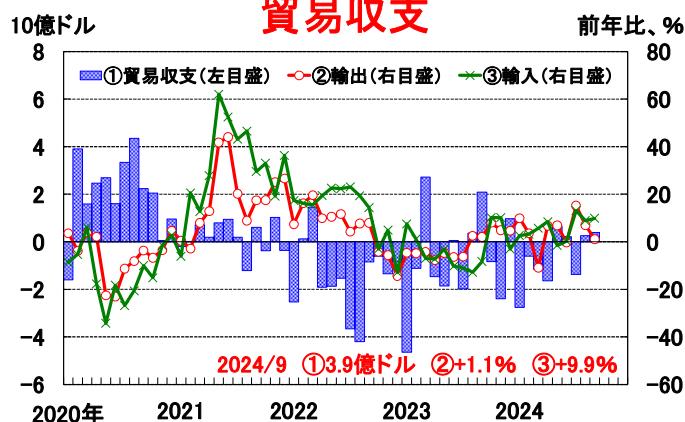


(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会(NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

季調済
2021年=100季調済
中立水準=50季調済
2010年=100

10億ドル

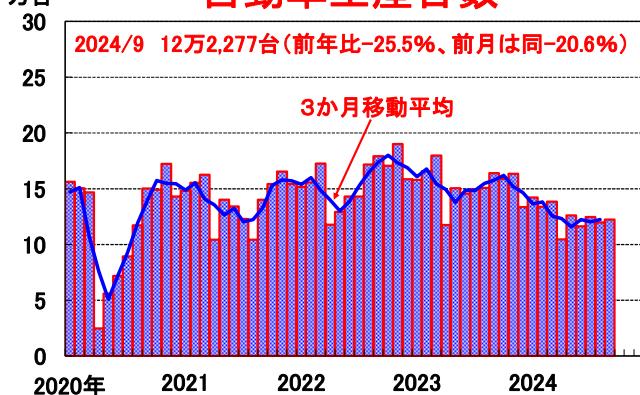


(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟（F T I）

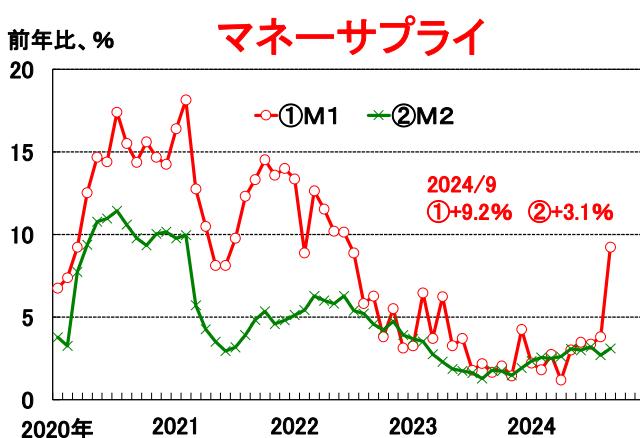
本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

万台

自動車生産台数

季調済
2010年=100

前年比、%



前年比、%

